

千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第4週 (1/24-1/30) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	4週	3週	2週	1週
小児科	16	16	16	14
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	26	26	26	23
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	1/24-1/30	1/17-1/23	1/10-1/16	1/3-1/9	1/17-1/23
			4週	3週	2週	1週	3週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	2
	咽頭結膜熱		0	1	3	0	28
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	16	9	8	53
	感染性胃腸炎	↓	154	168	129	62	1,074
	水痘		2	1	3	0	10
	手足口病		3	2	1	7	14
	伝染性紅斑		0	0	1	0	0
	突発性発しん		6	8	6	5	39
	ヘルパンギーナ		1	0	0	0	3
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	15
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	3
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		1	0	0	0	7
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患: 5,033 例 ※ 新型コロナウイルス感染症5,029例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	IGRA検査等	梅毒	女性	30歳代	血清抗体の検出
E型肝炎	男性	30歳代	病原体遺伝子の検出	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-100歳代	病原体遺伝子の検出等
梅毒	男性	20歳代	血清抗体の検出	-	-	-	-

・第4週は、結核1例(7)、E型肝炎1例(3)、梅毒2例(2)、新型コロナウイルス感染症5,029例(9,740)の発生届があった。

※ ()内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第4週のコメント

<感染性胃腸炎>前週より減少し9.63となったが、過去10年の同時期と比べると依然として多いまま。年齢階級別では、最も多いのは1歳だが、殆どの年齢階級で減少している中、4歳、6歳及び10歳代後半で増加し続けている。区別の発生状況は、若葉区(16.00)及び緑区(19.00)で流行発生警報開始基準値(20.00)を下回ったが、共に流行発生警報終息基準値(12.00)は上回っている。緑区で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf